

福居

vol.124



福井商工会議所青年部会報

発行日／令和 6 年 4 月 25 日

発行者／佐藤 宏隆 編集者／総務委員会

発行所／福井商工会議所青年部

福井市西木田2-8-1

TEL:0776-33-8253 FAX:0776-36-8588

— 知行剛 —

・ 令和5年度会長挨拶	2
・ 令和5年度活動報告	4
・ 特集 第40回会員大会	10
・ 特集 まいどな調査	12
・ 1年間の振り返り	13
・ 卒業生の言葉	16

・ 令和6年度会長挨拶	18
・ 令和6年度委員長抱負	19
・ 新入会員紹介	22
・ 令和5年度組織図／会員企業一覧	28
・ あじさい会通信／結婚・おめでた／西木田通信	

— 知行剛 —

福井商工会議所青年部
令和5年度会長
佐藤 宏隆



令和5年度第45代福井YEG会長を務めさせていただきました佐藤宏隆です。まずは令和5年度の活動にあたり多大なるお力添えをいただきました福井商工会議所八木会頭をはじめ職員の皆様方、行政、地域団体の皆様方に心より感謝申し上げます。また各会員企業、ご家族の皆様、OB、OGの皆様と大変多くの方のご理解とご協力、そして何より会員の皆様が貴重な時間と能力を会の活動にかたむけていただいたおかげで、本年度も福井YEGは様々なことに挑戦することができました。誠にありがとうございました。

「光陰矢のごとし」という言葉のとおり、あっという間の一年間でした。会長の内示をうけて本年度の基本方針、活動方針、組織や予算案を考えていたことがつい昨日のこのように思えます。一炊の夢の故事よろしく、この一年は夢で、本当はまだ就任の挨拶すらしていないのではないかと考えてしまいます。

そう感じてしまうのは、立ち止まらず、振り返らず、この1年を一気に駆け抜けたことの裏返しなのだと思います。本年度の始まりにあたり、私は変化が早く不確実性の強い現代において我々に求められているのは、会員一人ひとりが自ら考え行動することであると考え、「知行剛一」をスローガンに掲げました。先が読めない時代に確固たる答えは無いことを自覚し、誰かに答えを求めるのではなく、自ら考え、実践する。組織の規律に縛られず、自身の枠に縛られず、自らが善いと思うことに果敢に挑む。加えて本年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し事業活動が正常化し、3月には待ち望んだ北陸新幹線の延伸が実現しました。事業に対する制約が無くなったことのインパクトは大きく、新幹線延伸に向けた賑わいづくりや事業環境変化への対応といった社会的ニーズとあいまって、様々な取り組みに挑戦していただきました。YEGロゲイニングや恐竜体操など「祭り」というイベント以外でも活用できる賑わいづくり。高校生との協働事業から県下の高校の探究活動の発表の場へと次代を担う世代との新しい関わり方。YEG内のビジネス活動の見える化、会社訪問やMG研修といった実践的研修。これらの活動に共通していたのは、一過性のものではなく、今後長く続き磨かれていくものを目指す姿勢でした。私の所に連絡が来るのも「どうしたらいいでしょう」ではなく「やっていいですか」というアクティブなものばかり。その大きなエネルギーが活動の停滞を許さず、前に前にと押し進めてきた。それ故にこの一年間があっという間に感じられたのだと思います。

また本年度は、福井県商工会議所青年部連合会の会員大会を主管しました。4年ぶりの主管大会であると同時に、福井YEGとして他単会の方をお招きする久しぶりの機会。そこで次年度の50周年のプレ大会と位置づけ、会全体が一体となって企画運営を進めていただきました。一方で研修会を分科会形式で2つに分けて実施、OB

サロン、懇親会での卒業式など、従来の会員大会のフォーマットにない取り組みに挑戦したことで担当委員会には多くの負担をかけてしまいました。それでも会員の皆様の果敢なチャレンジのおかげで、参加者の評価も高い、大変素晴らしい会となりました。この経験は必ず次年度の50周年に活かされることと思います。

こうして振り返るほどに、本当に幸せな一年間だったという思いが強くなります。プロジェクトはよく航海に例えられますが、副会長や委員長、副委員長などの役職者はもちろん、日本YEGや近畿ブロック、福井県連への出向、委員会活動への参加など会員それぞれがこの航海を支えてくれたからこそ、難破することも遭難することも無く、船は今、港に戻ってくることができました。この一年間、皆様と共に歩んできた道のりは、私にとってかけがえのない宝物です。令和5年度の福井YEG会長としての航海は終わりを告げますが、これは終わりではなく次の航海の始まりです。経験を積み、責任ある役職に挑戦する会員もでてきました。新たな航海への旅立ちに向けて、皆様と共に新しい一步を踏み出すことを楽しみにしています。一年間本当にありがとうございました。



令和5年度

活動報告



4月定期総会並びに例会

4月26日（水）18時30分より、4月定期総会並びに4月例会を開催しました。

本総会では、福井商工会議所八木誠一郎会頭より来賓挨拶の後、議案審議を行いました。議案内容としては、前年度の事業報告並びに収支決算、本年度の事業計画、収支予算などの審議を行いました。総会の最後には、山田直前会長による退任の挨拶がありました。山田直前会長、1年間大変お疲れ様でした。

総会後には、引き続き、4月例会「エンジェルタッチの使い方」を開催しました。事業の目的としては、エンジェルタッチの使い方を学ぶことで出席回答だけでなく会員同士の連絡にも活用できるようにするというものです。例会では、エンジェルタッチを実際に使用してもらいプロフィールなどを埋めてもらい、会員が操作に慣れることができるような設えとしました。

5月例会

税制改正のポイントとオフィスDXを知る

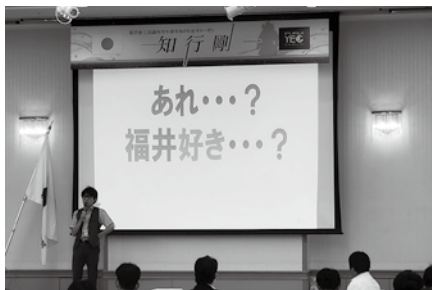
新型コロナウイルスも終息を迎え、経済活動が再び歩み出す中、昨年12月に「令和5年度税制改正大綱」が公表され、税について会員の中でも理解の浸透度合い、情報収集に差が出てくるのではないかと考えました。今年10月から開始されるインボイス制度や電子帳簿保存法のポイントを振り

6月例会

新しい「ひとづくり事業」を考える時間

振り返りながら、税制改正による抑えるべきポイントを学び、既存税制について学び直すこと、そしてそこから繋がるオフィスDXを知ることが、会員企業にとって有益かつ会社基盤を支える会計力の強化や業務の効率化にも繋がると考え、会員企業の強化・発展に繋げるべく例会を実施致しました。講師を福井YEG会員の木村知さんに依頼したことで、終始和やかな雰囲気の中、質疑応答もたくさん頂き大変実りのある例会になったのではないかと思います。

6月例会は、テーマを「新しいひとづくり事業を考える時間」とし、講師とゲストをお招きして開催しました。第一部では、福井県庁より寺井COD（チャレンジ応援ディレクター）を講師にお招きし、「ひとづくり」とは何か、またこれまでに寺井CODが福井県内で実施されてきた「ひとづくり事業」の事例を伺い、「ひとづくり」ということを理解し、「ひとづくり事業」を取り組む意義や目的を学びました。第二部では、熱心に探



究活動に取り組まれている福井商業高校の牧田先生と敦賀YEGメンバー2名をゲストに迎え、地元高校生とYEGが行った協働事業の事例やその課題点など、我々にとって身近な話を聞くことが出来ました。第一部、第二部を通し、例会後半には我々福井YEGが今後、地元の若者に対し何が出来るか、どんな応援をしてあげることが出来るのかをメンバー同士で話し合いました。今例会を通じ、「ひとづくり」の観点から地域の若い世代と「協働」し、育成やチャレンジを応援する「ひとづくり事業」を創出していくことについて理解と考えを深めました。また、今後も県が掲げる重点政策のひとつである「夢とチャレンジを応援」とも足並みを揃え、行政や学校との連携を目指していきたいと思います。

7月例会 応募型トライ・ドウ事業
プレゼン例会

会の誰もが、例会以外にこんな事業をやってみたいと思う事業をプレゼン形式で競い合う、トライドウ事業。今回は4組の募集があり、本年度大賞を獲得したのは、登竜門躍進委員会C班の『こんな初めて 初体験』でした。

普段市場に出回らない値段が安い魚の付加価値を高め漁業関係者へ貢献していくという、YEG活動において素晴らしい発想でした。新入会員でありながらスケールメリットを活かしたプレゼン



や、YEGのこれまでの活動を活かしたプレゼン内容など、非常に見どころが多いプレゼンをしていただきました。

この事業が、これからのYEGにおいて積極的にチャレンジしていく会として高めることに寄与しているといえると思います。

8月例会

次年度に50周年を迎え、記念事業の際には新たな中期ビジョンとアクションプランの発表ならびに政策提言の内容についての発表（または手交）を目指している当会にとって、キックオフともいえるべき例会でした。

政策提言については、我々はムーブメントを起こす団体であるというYEGが提言を行うことの意義を改めて問い、時代を読むこと、具体的イメージが持てること、実行における当会の立ち位置が見えること、その上で自身が情熱を持てること、これらの観点から、デジタル民主主義、リスクリング、ファミリービジネス、の3つのテーマで素案を作成していくことを共有しました。

中期ビジョンについては、これまでの在籍年数や職歴等によりグループに分かれ意見交換を行いました。会長経験者は中期ビジョンと自身の方針との紐付けについて、執行部経験者はいかにして中期ビジョンを会に浸透



させるかについて、委員長経験者はどのようにしたら中期ビジョンをアクションとして事業で実行できるかについて、新入会員はYEGを楽しむために必要なもの（あったらいいな）について、それぞれの視座からざっくりばらんにトークを重ねました。

本例会はこれらの実施に向けて、これまでの振り返りと現状の把握を行い、会内での理解を深めていくものとなりました。

夏の賑わい事業

「福井駅前恐竜わいわいストリート」

8月11日（土）に福井駅前の電車通り、ガラススクエアで「福井駅前恐竜わいわいストリート」を開催しました。今回は「恐竜」をテーマに、化石発掘体験、恐竜サンドアート、恐竜かき氷、恐竜氷柱などの縁日企画のほか、恐竜体操、恐竜サッカーなどのYEGオリジナルコンテンツの体験もいただきました。さらに「古代竜士バレイアン」も登場して、お子様も含めみんなで恐竜体操をやったことが印象深いです。この恐竜



体操は五木ひろしさんの楽曲「恐竜体操」にYEGオリジナルの振付けを加えた健康増進コンテンツで、本事業後も他団体さまのイベントで使われるなど活躍してくれてうれしく思っています。

事業当日はこの日のために夜な夜な準備を続けてきたことが功を奏したのか、暑すぎるほどの晴天に恵まれ、汗をかきながらも県内外からのたくさんの方々に楽しんでいただきました。また、今回は北海道大学のよさこいチーム「縁」の皆さまが運営を手伝ってくれました。若いパワーに支えられたことも印象深い事業となりました。

10月例会

続・新しいひとづくりを考える会

本例会は、6月例会「新しいひとづくりを考える会」に引き続き、ひとづくりとは何かを考えました。6月例会では、すでに若者と協働している大人を講師として事例やひとづくりに置ける大事なことを聞きましたが、実際に協働する上で、若者を理解することも大切だと考え、若者の意見を聞くことを目的に開催しました。

福井市の11高校を対象にアンケートを取り、約300人のアンケート結果からクイズを作成して、YEGメンバーに高校生と大人の考え方の違いに気付いてもらうことと同時に、当日例会に福井商業高校の生徒さんをお招きして、高校生のリアルを知ってもらいました。

「福井は好きだが、就



職先がない」「大人には、もっと高校生の声を聞いてほしい」「若者が活躍できる場が欲しい」等、様々な声を聞くことができました。

想像以上に、高校生が自分の意見を持っており、高校生から気付かされる事も多く、YEGメンバーが高校生と協働する意義を感じることができたと思います。



第41回 近畿ブロック大会

泉州いずみ大会

10月20日、21日に第41回近畿ブロック大会「泉州いずみ大会」が開催されました

1日目は近畿ブロックYEGの役員会、定期総会、会長会議などが行われ2日目は記念式典と分科会などが行われました。分科会では10分科会分かれて企画の歴史に触れたり、講演で前大阪市長である松井一郎氏を迎え、「松井一郎が見据える大阪・近畿の未来」というテーマで講演を聞いたりましたまた大懇親会ではほかの近畿ブロックメンバーと交流が行えました。

11月例会

マイドナシヨ

福井県観光連盟観光地域づくりマネージャーの佐竹正範様、amie(株)の代表であり「福井を勝手に宣伝隊」として首都圏などで福井のPRに努め

ておられる大森望央様をお招きし、100年に1度のチャンスである北陸新幹線福井延伸を控え、観光業のみならず実際に自社のビジネスにどのように結びつくのかを講演頂き、YEG会員企業にとって大変大きなチャンスであることを学び考え情報共有を行う例会を開催致しました。メリットはもちろんデメリットや問題点などもお話し頂き、今後の新しい事業展開と構築のきっかけ、さらには福井YEG目指す地方創生への一助になったのではないかと思います。例会の最後にはリフレクションを行い会員メンバーの学びや思いを共有し大変賑わいのある例会となりました。

企業視察研修と

小松YEGとの交流

石川県加賀市の石川樹脂工業(株)様、小松市のやまとグループ(株)様へ訪問させて頂きました。各社の取り組み内容や経営方針に関する講和を頂き、工場見学をさせて頂きました。石川樹脂工業(株)の石川会長、石川専務より事業承継に至るまでの経緯や思いのお話を頂くと共に、機械化・省力化・自動化による社会課題への解決についてお聞きかせ頂きました。やまとグループ(株)様では小野社長より、理念を軸とした事業展開のお話を頂きました。従業員・顧客など、会社に関わる方にこの理念が浸透しており、市場も含めて一つのコミュニティであり家族であるような、強い企業体を拝見させて頂きました。会員メンバーにとって非常に学びある企業視察となりました。なお、やまとグループ(株)の小野社長は小松YEGのメンバーであり、企業視察後、多くの小松YEGメンバーが駆けつけて頂き、小松市にある焼肉店「味道園」にて懇親会を設けて下さりました。非常に学びと交

流がある一日でした。

12月定期総会 並びに例会

12月20日(水) 18時30分より、12月定期総会並びに12月例会を開催しました。

本総会では、次年度の基本方針や活動方針、次年度役員案が審議され、承認されました。その後に、次年度会長による所信表明をいただきました。

総会後には、12月プレゼン例会「求む!『知行剛一』の実践者たらんとする者」が開催されました。事業概略としては、5名の応募者により自社プレゼンを行ってもらい、プレゼン終了後に、会長によるプレゼンの講評を実施、会長賞による表彰も行うというものです。事業の目的としては、YEG会員間での事業の理解、並びに積極的な応募により、本年度の基本方針『知行剛一』を実践してもらい、会としての風土を高めるというものでした。見事に会長賞を獲得したのは、P&A委員会の南雄策君(株式会社STUDIO・CASA)でした。

年間事業

福井県立福井商業高等学校との協働※事業

YEGと一緒に探究授業を出来ないか?という商業高等学校の先生からお声を頂き、YEGの新しいひとづくりとして挑戦した事業。福井市のホストタウンになっているスロベニアを探索してみたいという担任の思いと、ホストタウンが市民に知られていないという福井市の悩みを知り、両者のために、YEGが協働する意義があると思い、

年間事業として取り組みました。

生徒は、始めのうちは、普段大人と関わることなく緊張しており、さらに、全く知識のないスロベニアを探究することに戸惑っていたが、回を重ねる毎にユニークな意見を出してきてくれた。YEGの例会に参加してくれる生徒もいたり、相互に信頼関係を築くことができたと思う。

YEGとしても初めての試みで、学生時代に探究活動も経験したことがなく、手探りで毎回授業にあたった。生徒の意見を聞き出したり、どうしたら、問題の自分事化をしてもらえるかをメンバー間で何度も話し合った。

最終的には、成果発表では、スロベニア大使や福井市長など、様々な人を巻き込んだ形で大成功を収めることができた。

生徒の中には、今回の事業を通して、「福井がさらに好きになった」や「他の高校と交流したい」、「商品開発」や「福井のRPをしていきたい」など前向きな発言が出て、ひとつづくりの新しい形が見えたと思う。



1月例会

高校生探求クエスト「探究を探究！」

令和6年1月21日（日）に、まちひとユニット1月例会「高校生探求クエスト」探究を探究！」を開催しました。

今回の例会では、福井県内の高校生の探求活動の発表の場を提供させて頂きました。当日は、福井県内9校17チームの高校生の発表があり、福井YEGをはじめ、多くの一般の方も参加頂いた例会になりました。

第一部では各高校による探求活動の成果や取り組みを発表し、第二部では各高校がチーム毎にブースを設け、交流会や意見交換を行いました。高校生が色々な角度から探究課題を見つけており、青年部メンバーも発表を聞いたり意見交換を行う事で刺激を受け、更なる発展に繋がると感じました。

また、福井市長や親会の進藤常議員、さらに



ユーリ・リフェル駐日スロベニア特命全権大使もご参加頂き、素晴らしい高校生の発表に興味と関心を示していました。

今年度、佐藤会長の掲げた「まちづくりとひとつづくりの観点から新たな事業の立ち上げを目指す」という活動方針にそった内容で事業構築をすることができました。

2月事業

市民参加型のデジタルプラットフォーム

の理解を深めよう！

次年度、福井YEGは実施を見据えた政策提言を行う予定です。

提言の内容として、デジタル民主主義、ファシリティビジネスの事業承継、リスキリングの切り口から提言を予定しています。まずは、私たちの知識を高めるために想像しにくいデジタル民主主義のプラットフォームの考え方だったり使い方を学び、手法を提言するのではなく、どのように民間の意見を施策に取り入れてもらえるのか、私たちの提言を行うための課題点が見える講演を東先生に行ってくださいました。会員の一人ひとりが意識して考え続けることを改めて重要であると再認識する内容がありありがとうございました。



3月例会

春の賑わい事業

令和6年3月23日（土）、24日（日）に福井市中央公園で開催された「第39回ふくい桜まつり」に参画し、「子ども縁日」、「フクロゲ」を企画・運営いたしました。

今年は4月開催の例年と異なり、前倒しの3月開催です。担当のP&A委員会は、準備をしながらも、天気予報とにらめっこするのが習慣となっていたように思います。

子ども縁日では、新作「ハンマーヒット」や「ミニ北陸新幹線」の乗車体験を企画しました。今回は例年活用しきれいていない掘割広場をあえて会場とし、有効活用にチャレンジしてみました。

また、福井の魅力を身体を使って体験できる「フクロゲ」は、昨年よりチェックポイントやミッションを増やしたり、「体験版」を追加するなどバージョンアップ。より楽しんでもらえるよう会議室や現場で作

り上げてきました。

初日の23日

（土）はあいにくの雨となりましたが、24日（日）は雨も上がり、



中央公園も多くの人々がみられ、子ども縁日も家族連れで賑わいました。フクロゲも23日の午前の部は残念ながら雨で中止になったもののそれ以外は無事に開催でき、各チームそれぞれのペースで楽しんでいました。天気の様子にビクビクした事業でしたが、北陸新幹線福井駅開業で盛り上がる福井の賑わいに貢献できたと思います。

第43回 全国大会

いしかわ小松大会

令和6年3月13日（水）～17日（日）

にかけて石川小松にて開催されました。オンラインも含めると日本YEG加盟全会員417単会で、1089名のたくさんのメンバーが来ていて改めてYEGのごさを感じました。

大会では各種会議、分科会、大懇親会、記念式典、記念講演、記念事業、エクスカーションなどが企画され素晴らしい大会でした。

全国の会員と交流できるまたとないチャンスなので次年度もたくさんの会員が参加出来ればと思います。



福井YEGオリジナル

ゆるスポーツ（恐竜サッカー）の改善および普及活動

令和4年度において、スポーツを中心とした地域づくりを目指した活動として取り組んだ福井YEGオリジナルゆるスポーツ（恐竜サッカー）開発。体験会を通して明らかとなった課題に対し、より楽しみやすくまた広く参加しやすいルールとなるような改善を施すことで今後もより多くの方に体験していただける機会を創出していこうと、今年度も継続して改善に取り組んで参りました。

改めて基本的なコンセプトを「恐竜の卵に見立てたボールを使ってプレーするサッカー」と定め、「①強く蹴ると割れてしまうという特性を表現したボール開発」「②一人でもプレー可能なルール」「③一定の強度をもった、再利用可能な恐竜コスチュームの制作」の3つのポイントを押さえながら検討を進めました。また、改善活動にはまちひとユニットメンバーだけではなく、昨年度に引き続き大学生や高校生メンバーも外部参加してくれ、一緒にアイデアを出し合いました。



卒業式とあじさい会との交流会

結果として、夏の賑わい事業にて改善版の体験会を実施することができ多くの方に参加してもらうことができました。また、10月にはまちづくり福井主催のイベント「恐竜運動会」にて恐竜サツカーの要素を盛り込んだ競技が実施される等、年間を通して周知や普及に繋がる場づくりも実現することができました。

令和6年3月19日（火）、福井県民ホールで開催された福井商工会議所青年部の3月例会は、卒業式とあじさい会との交流会・懇親会を兼ね、114名の参加者で盛大に行われました。この例会の担当委員会は、新入会員が集まる登竜門躍進委員会のメンバーでした。慣れない中でも2度目の担当例会として、新入会委員の思いが籠ったとても良い設えでした。

卒業式のパートでは、長年YEG活動に尽力された卒業生の感動的な言葉に、会場が感動の渦に包まれました。彼らの熱い涙に、新入会メンバーからも『卒業する頃には熱く語れるように、これからYEG活動に取り組んでいきたい』との声が聞かれ、絆の深さを感じました。

懇親会のパートでも、メンバーの飲食店を



一堂に会したブースが設けられ、大満足の内容でした。OBの方々との積極的な交流も行われ、参加者全員が心を開き、お互いのストーリーや夢について熱く語り合いました。それぞれが持つ情熱が一つになり、新たな繋がりが芽生える素晴らしい場となりました。この例会を通じて、50周年に向けた最後の例会としても大成功だったと思います。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



第40回

福井県商工会議所青年部連合会 会員大会

Next Age 一次世代の為に次の時代をつくる



式典

第40回福井県商工会議所青年部連合会 会員大会の式典という事で、福井県からは、産業労働部副部長、福井市からは市長の西行茂様、親会である福井商工会議所からは吉田副会頭に、日本商工会議所青年部から吉川肇頭副会長、近畿ブロック商工会議所青年部連合会からは本多会長にお越しいただき、ご祝辞を頂戴しました。そのほかにも、福井県商工会青年部連合会の中嶋会長、福井県中小企業団体青年中央会の社会長、公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区福井ブロック協議会の林会長にもお越しいただきました。

福井県の会員大会であるにもかかわらず、近畿ブロック商工会議所青年部連合会からも20名を超える多くの理事の方にお越しいただき、本当に盛大に開催することが出来ました。

これまでの福井県商工会議所青年部連合会に貢献してくださった歴代会長やOB・OGの方にも多くご参加いただき、総勢220名を超える参加者の方々にご参加いただき、本当に素晴らしい式典にすることが出来ました。

次年度40周年を迎える福井県商工会議所青年部連合会の足掛かりになる式典になったのではないかと思います。

会 員 大 会 懇 親 会

福井県民ホールで開催された福井商工会議所青年部の3月例会は、卒業式とあじさい会との交流会・懇親会を兼ね、114名の参加者で盛大に行われました。この例会の担当委員会は、新入会員が集まる登竜門躍進委員会のメンバーでした。慣れない中でも2度目の担当例会として、新入会委員の思いが籠ったとても良い設えでした。

卒業式のパートでは、長年YEG活動に尽力された卒業生の感動的な言葉に、会場が感動の渦に包まれました。彼らの熱い涙に、新入会メンバーからも『卒業する頃には熱く語れるように、これからもYEG活動に取り組んでいきたい』との声が聞かれ、絆の深さを感じました。

懇親会のパートでも、メンバーの飲食店を一堂に会したブースが設けられ、大満足の内容でした。OBの方々との積極的な交流も行われ、参加者全員が心を開き、お互いのストーリーや夢について熱く語り合いました。それぞれが持つ情熱が一つになり、新たな繋がりが芽生える素晴らしい場となりました。この例会を通じて、50周年に向けた最後の例会としても大成功だったと思います。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

研修会1

研修会1として講師にコミュニティーナースの加藤瑞穂先生をお招きし、「コミュニティーナースから学ぶ企業と地域のウェルビーイング」についてご講演頂きました。最近よく耳にする言葉ではありますが、「どのような目的をもって掲げられているものなのか」、「実例としての取り組みはどのようなのか」など、一般的にはまだまだ理解浸透度は浅く、当日参加頂いたYEGメンバーも同様でしたが、福井県におけるビジョンとそれに伴うウェルビーイングについて、企業の取り組み実例と目的を細かく解説頂き、メンバーの理解が深まったと感じました。県連大会スローガンにもあり、次代の為の企業づくり、社会づくりという点において一助となる研修会になったのではないかと思います。



振り返り



研修会2

会員大会の研修会2については50周年準備室ユニットメンバーで話し合い、「参加者同士の交流を深めつつ学びのある内容にしたい!」という方向性に決まるのは早かった覚えがあります。各自で実際にどんな内容にするか案を持ち寄った中で、稲葉君が「MBTIという性格診断が韓国で流行ってるんですけど、これで何かできないですかね〜」というナイスアイデアを出してくれたところから、最終的には「YEGゲーム」というオリジナルゲームを考えて実施することができました。

ルールや進行についてはギリギリまで話し合いを重ねて何とか形になったのですが、当日実際にやってみると、あら不思議。「ここでひと盛り上がりする」「ここで性格の違いが出る」「ここでこういう気づきが生まれる」など、こちらが意図していたことがバシッとハマっていくので、運営していてもものすごく気持ちよかったです。ユニットメンバーもそれぞれの持ち場でしっかり動いてくださったのも印象的でした。私自身が会員大会に初参加でしたが、企画会議から当日の運営まで楽しくやらせていただきました。皆さん本当にお疲れさまでした!



総括



令和5年度福井県商工会議所青年部連合会第40回会員大会「福井大会」の実行委員長を拝命した竹内亨です。福井YEGとしては会員大会の主管は2019年以来となっており、コロナ前の開催から4年経ち、コロナ前と同じ状況での開催ができたのではないかと思います。

1年近くを掛けての事業ということで、どのように進めていくのかが効率的なのかを考えました。全体への負担はできるだけ均等で、それぞれが責任を持って他人事にならないような運営方法として今年度は委員会がユニット制であったこともあり、ユニットごとに会員大会を分解し、担当していただきました。各委員長さんには通年の事業運営と会員大会の企画と大変な年度だったと思いますが、結果として250名の参加目標で、243名の参加を頂き、現地参加が200名以上と大体的な会員大会になったのではないのでしょうか。

テーマをNext Age -次世代の為に次の時代をつくる-とし、常に次の世代の事を想い愛情と情熱を持って活動されてきた先輩方の想いを引き継ぎ、我々も次の世代の事を考えて活動していこうという想いを今大会のテーマとして掲げさせて頂きました。各内容については、担当の皆さんが言葉してくれていると思います。県連初の卒業式、OBサロンを含めた分科会など新しいチャレンジができた会員大会を運営に携われたことは私にとって新しいYEGの価値を高めてくれる経験でした。誠にありがとうございました。



まいどな調査

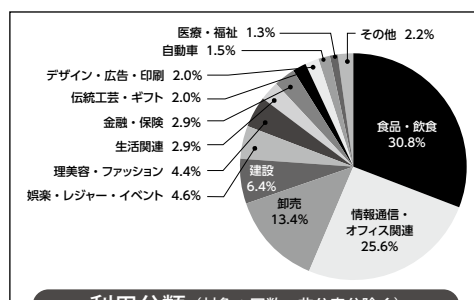
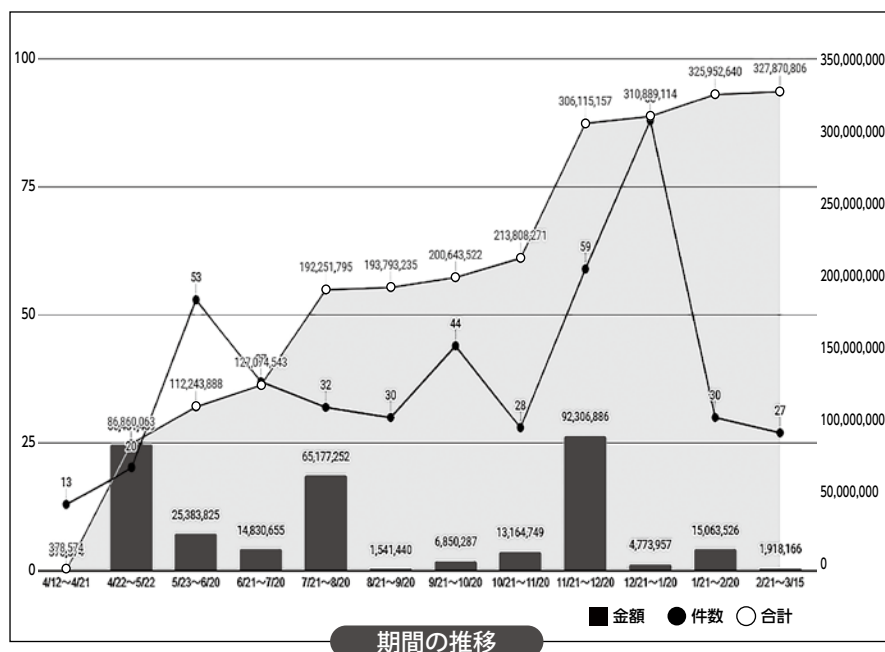
年度始め、まいどおきに委員会の役員メンバーとの会食で、何気ない会話から一つの疑問がうまれました。

YEGに入ると繋がりが増えるって良く聞くけど、いったいどのぐらいの繋がりがあろうのさうらう？

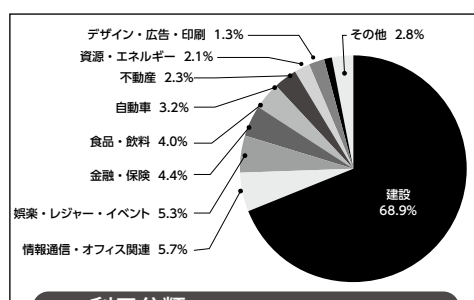
YEGに入会すると人脈が増える。繋がりが増える。そして仕事にも広がる。会員の皆さんであれば一度は過去に耳にした事はあるのではないのでしょうか。今年度のまいどおきに委員会ではこの見えない繋がりを数値化してどのぐらいの規模になるのか1年かけて「まいどな調査」として調べてみたいと思いました。

運営にあたってまず豊田YEGが過去に同じような調査を実施したことがあるとの情報を聞き、zoomにて豊田YEGの山下さんに当時の話を聞いて調査方法や集計方法などを参考にしました。

運営していく中で難しかったのは数か月経過すると、なかなか入力者数が増えず、集計結果が集まらなかったことです。なるべく手軽に入力してもらえるように、報告方法をGoogleフォームを利用し、スマホのトップ画面にアイコンの設定をしてもらったり、途中結果を会員メールで流して随時入力を促したり、11月～1月を入力強化月間として例会等で案内したりと工夫をしました。



利用分類 (対象: 回数、非公表分除く)



利用分類 (対象: 金額、非公表分除く)

しかしながら、最終的に、**結果は入力件数434件、入力者24名 (17.4%)、金額はなんと億超えの3億2485万円 (2月末現在)**と、金額、入力件数ともに予想をはるかに超えるものとなりました。入力者数は24名と全会員の17.4%にとどまりましたが、結果を見ると1日1件以上はYEG間での店の利用があることが分かり改めてYEGの繋がりの強さを実感するものとなりました。この金額については皆さんもかなり驚きの結果となったのではないのでしょうか。

今回、1年かけてまいどな調査を行ってまいりましたが、改めて調査にご協力頂いた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。来年度以降もYEG会員間での盛んな利用が拡大し、皆様のお仕事の益々のご繁栄に繋がっていきますことを願っております。



令和5年度委員長コメント

総務委員会

委員長

伊藤 翔平



令和5年度総務委員長を務めさせていただきました。

今年度は4月総会・例会、7月のトライドゥ事業、12月総会・例会、近畿ブロック大会、全国大会の設えなどをさせていただきました。4月の総会では多くの新入会員が入会したということでエンジェルタッチの使い方を改めてIT広報室の設えのも行いました。

7月例会ではトライドゥ事業として今回は4組の募集があり、本年度大賞を獲得したのは、登竜門躍進委員会C班の『こんなの初めて 初体験』でした。

12月例会ではプレゼン例会として、5名の応募者により自社プレゼンを行ってもらいました。見事南くんが会長賞に選ばれました。

ほかにも総務として手帳作成や年賀状作成、卒業生の登り旗作成などの作業がありました。が何とかやってこれたのは副隊長と副委員長の総務委員会の皆さんのおかげかと思っています。

委員長という職に初めてつかせてもらって一般会員では考えていなかったさまざまなことがありとても勉強になりました。この経験を次回以降も生かして行けたらと思います。

1年間ありがとうございました。

IT広報室

委員長

竹内 秋津



令和5年度IT広報室室長をさせていただきました。した竹内です。

今までの委員会活動とは違った室という活動でさらに、室長という立場・・・

前年度にお声かけいただいた時はとても自分任務まるか不安でした。

ですが、先輩方に支えられながらも一年を通して活動することができました。

A Tの管理や例会のzoom配信等々、IT広報室としての例会や表立った事業はありませんでしたが、会の活動が円滑に行えるよう力を尽くせたと思います。

令和6年度はIT広報室で行っていた対応は総務委員会がすることになると思いますが何かお困りごとがあれば気軽に連絡ください。一年間ありがとうございました！

P&A委員会

委員長

宮田 由紀恵



令和5年度P&A委員会の委員長を全うできたこと、皆様に感謝申し上げます。Positive（前向き・積極的）にAttractive（魅力的）な委員会運営、

事業を構築していきたいと表向きには言っておりましたが、P&Aは「p and a」、つまりパンダ委員会でした（笑）。担当する事業の予算感も規模感も大きい委員会を私なりに楽しんで一年間やり遂げるために、委員会の名前くらいは大好きなパンダに：と、こんな委員長でごめんなさい（笑）。

委員会運営や事業内容について、「委員長の好きなようにやればいい」という言葉をよく耳にします。では私の好きなようにとは何か、と考えたとき、出した答えは「配属されたメンバー全員を巻き込むこと」でした。集まった方々の時間を有意義なものにするためにも、委員会は2時間で終わるように準備してまいりました。委員会出席率100%が叶わなかったことが心残りではあります。が、年間を通して委員会や事業当日等、何らかの形で最低1回は委員会メンバー全員が参加して関わってくれたこと、委員長として嬉しく思います。

「まちづくり」とは何か。人それぞれの考え方がありますが、令和5年度は「祭り」という言葉を使わず、全ての事業を「賑わい事業」に変えて活動できたことにも感謝しております。私の思う「まちづくり」の事業を、この福井YEGで行なうことができ光栄に思います。いつの日か福井でのラジオ体操が「恐竜体操」になっていることを切に願ひ、令和5年度活動の総括コメントといたします。

Nice Buddy委員会

委員長

見谷 純次



本年度Nice Buddy委員会では「新しいひとづくり事業」として高校生をターゲットに活躍でき

る「場」を作っていました。福井県内でも様々なサポーターや場を作っていました。YEGとして探究をテーマに協働して取り組んでいこうと思いい、福井商業高等学校の生徒と共に1年間福井市のホストタウンであるスロベニア共和国を福井市民に周知してもらうにはどうすればよいかを協働して考え毎月授業を行い検討していきました。探究とは生徒自ら問い課題解決のために取り組んで行くため我々のサポーターに仕方が難しく苦悩しましたが生徒たちは我々が考えない発想など数多くこちらが参考になることが多かったのが現実でした。10月には福井市内の高校生にアンケート(1,300名)をとりYEG会員と高校生の考え方の違いに気づいてもらうとともに福井商業高等学校の生徒を例会に参加してもらい高校生のリアルをさらに感じてもらいました。1月には探究学習の発表の場を作りスロベニア大使をお招きして福井商業高等学校の成果発表を行いました。まさか年度初めに大使までお招きする事業になるとは思っておりませんでした。が産官学と連携して行うことによって素晴らしい事業が構築できることを感じました。また、1月例会では福井県内で探究学習を行っている学校(生徒)にも発表を行ってもらい各校違った面白いテーマで行っており我々YEGや企業がサポーターしていくことにより更なる発展していくと感じました。

次年度以降もなにか困ったときの相談場所として福井YEGに相談できる場になっていければと思います。



まいどおおきに委員会

委員長

久保田 晃 仁

令和5年度、まいどおおきに委員会の委員長を務めさせていただきました。

思い起こせばちょうど一年前。私自身、初めての委員長職ということで、冬場、仕事をなかなか抜けられない状況の多い私が、一年間も委員長職がうまく務まるのだろうか、皆さんに迷惑をかけてしまわないだろうかととても不安でしたが何とか委員会メンバーの皆さんにも支えられて一年間なんとかやり抜く事ができました。

今年度のまいどおおきに委員会では5月、11月のビジネス例会と石川県への会社訪問、そしてM/G研修を主に担当致しました。その中で難しかった事は、日々、目まぐるしいスピードで変化する社会において、様々な職種が集まるYEGの皆さんに、どういう例会を設けると皆さんの仕事に役に立つのか、皆さんが興味のある事はなんなのか。そこを考えたながら設えていく事が一番、難しかったです。しかしどの例会終了後にもみなさんに楽しかった、勉強になったと優しいお声掛けをして頂いた事はとても嬉しかったです。

振り返るとあつという間の一年間でした。自信を無くしかけた時期もありましたが、副会長、副委員長、委員会メンバー、そして講師を請け負っていただいた方々とたくさんの方に支えて頂き、大変貴重な体験をさせて頂けたと思います。YEGに入会して、まだ一度も委員長を経験したことのない方はぜひ一度は経験して頂ければと思います。1年間、本当にありがとうございました。皆

さん、まいどおおきに！



登竜門躍進委員会

委員長

細川 正 人

ご覧の皆様こんにちは。登竜門躍進委員会の細川です。

この委員会は新入会員の登竜門となり、研鑽し、挑戦し、プロセスを学び、結果として成功も失敗もする事を自身の経験値として、成長し、そしてその個人の躍進に繋げていく事を目的としています。そんな成長物語となる活動ができる事を願います。この委員会名をつけさせていただきました。

はたして、その思いが成し遂げられたのかどうかは、この会報福居が発行した頃、新入会員のメンバーそして私に聞いてみてください。さて、福井YEGの新入会員委員会の委員長をするにあたり、まずはメンバーがいないと始まらないと思い、元旦から願掛けをして拡大活動に励みました。最終的に1名しかいない状況から40名の新入会員と共に活動できる事が叶いました。

このVUCAの時代に多様なメンバーとどう向き合い活動するべきなのかを日々考え、委員会を構築していききました。来てもらいたい、来てもらったからには楽しみ喜びを感じてもらいたい。一方で成長してもらいたい一心で、時には厳しく、様々な役割という名の無茶振りなどもしたかもしれません。

結果、昨日より成長したメンバー一人一人と様々な思い出が残る一年になったと思っております。そして登竜門メンバーの更なる躍進を祈っ

ておりま
す。これ
からの福
井YEG
が益々楽
しみに
なってい
きました。



最後に委
員会活動を下支えして頂
いた阿部、大矢副委員長、
山田直前会長、高木、朝
田、中川相談役の皆様、
本当に感謝致します。



来年度はこのメンバ
ーと新たな福井YEG活動を繰り広げて行こうと思
います！一年間ご支援ご協力ありがとうございました！



中期ビジョン検証室

室 長

佐々木 俊 一

50周年の新たな中期ビジョンに向けては、理解
度や共感度の観点から、「集約型」でありメンバー
それぞれの「内発的動機」に基づくビジョンであ
りたいと、そう思ってきました。

そのために、ビジョンKFTK（今後の 福井
YEGを とことん 語る会）と題して、気持ち
はざつくばらん、内容はディープな夜の語り場を
6回シリーズで開催させていただきました。メン
バーと膝をつき合わせて語り合うことにウェイト

を置きすぎた感がありますが（汗）。

現中期ビジョンの検証、日本・各ブロック・県
連の掲げるビジョンやその構築プログラム、全国
の各単会が掲げるビジョン、これまでの年度から
の引継ぎ&検討事項、みなさまから集めた声、新
たなアクションプランに対するロジックモデルの
導入、後半からはこれらの膨大な資料を集約して
いく作業が待ち受けていました。

合宿的なものも2回開催しましたし、室メン
バーには多大なる労力をおかけしました。この場
をお借りしてご協力に感謝申し上げます（軽々し
く、ゼミの卒論のつもりでもう一度青春しよう!!
とか言ってごめんなさい）。個々人の視座や熱意
によりけん引されていくのも我が福井YEGの伝
統と風土ということで、これもまたよしとしま
しょう（笑）。

50周年という大きな節目においては、我々の会
は何のために存在しているのか（存在意義）、我々
は何のためにこの会に入って活動しているのか
（動機と目的）、原点ともいえるこのふたつを改め
て考え、明らかにしていくことが重要であると考
えます。次年度のみなさま、引き続きどうぞよろ
しくお願いいたします。



政策提言準備室

室 長

黒川 照 太

福井YEGにおける政策提言とはどうあるべき
か？誰に対してどんな働きかけをして、どんな状
態になることを目指していくのか？私自身が政策
提言について曖昧なイメージしかなかったため、

本当に基本的なことから議論を始めて、コツコツ
と積み上げてきた1年間でした。

せっかく自治体を巻き込んでコトを起こすんだ
から、「福井に新たなムーブメントを起こす」と
いうつもりでやってみよう。ただ口だけ出すん
じゃなくて、一緒に汗をかいて実現していくよう
な提案にしよう。福井YEGならではのオリジナ
リティのある提案にしよう。そう思ってメンバー
皆で考え、ひねり出した3つの政策提言の素案。
これが決まってから活動が一気に加速しました。

福井市の職員と意見交換したり、県庁の職員に
向けて家業後継者の実態調査を提案したり、市民
参画型デジタルプラットフォームの勉強会を企画した
り……。それまで室のメンバー内だけで議論してき
たことを外部の方に発信して行く中で、自分たち自
身の思考がより深まり、ほんのちよと手こたえらし
きものも感じられるようになりました。

来年度も政策提言のPJとして活動していくに
当たり、福井YEGのメンバーに向けた周知、自
治体含め関係団体との連携、50周年での手交式に
向けた政策提言書の作成、などを同時並行で進め
て行くこととなりますが、その作業量を想像して
内心震え上がっております（笑）

ですが心強い政策提言メンバーをはじめ、みん
なを頼りながら今後もコツコツと進めて行こうと思
います。

卒業生の言葉

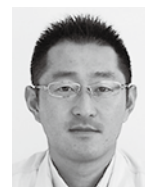


大 滝 智 己

この度、7年間あまり在籍した青年部を卒業させて頂くことになりました。振り返ってみると入会当時の新入会員委員会（次世代成長委員会）の坂口委員長の（いろいろな）器の大きさに圧倒された出会いを始めて多くの尊敬できる方々と出会い交流できた7年間でした。「一会社員に過ぎない自分が所属していいものだろうか」と思いながらも引き受けてしまった役割も熱い方々の優しい声かけや有難い発破等々の支えにより県連役員や副委員長などの大役も何とか乗り越えられたことも今は良い思い出です。

コロナ禍や他組織での役員活動等の私事都合で思うように活動・協力できなかった期間や部分もありましたが、様々な方との交流と併せて地元福井のための活動が出来る！そんな貴重な経験が自分自身の新たな発見や成長に繋がったと感じており関わった全ての事に感謝しております。

最後になりますが福井YEGの益々の発展と、会員の皆様の活躍を祈念いたしております。本当に有難うございました。



海 道 雅 俊

H19年の入会以降、会員の皆様には長年にわたる大変お世話になりました。

途中から休会とさせて頂きましたが、近畿ブロック大会や全国大会に皆さんと一緒に参加したことが思い出に残っています。休会以降も皆さんからは引き続き何かとご連絡頂きました、本当に感謝です。今後において貴重な人脈を頂くことができました。ありがとうございました。

福井YEGの今後益々の発展と会員の皆様のご活躍を祈念しております。今後ともどうかよろしくお願いいたします。



高 木 秀 樹

私の人生の約半分はYEGのある生活。入会当時は仕事も有るのに時間を割いてYEGに参加する理由がわかりませんでした。

そんな時にも先輩が気にかけてくれたり相談にのってもらったり、アドバイスを頂いたりしているうちに徐々にYEGに行く事が楽しくなりました。

社員が増え役職も代表になり組織的な経営が必要になった時期は戸惑いもありましたが、YEGでの組織的な活動の経験が大変役立ちました。

新規事業を立ち上げる時はYEGの仲間がいる事で助けられた事が数多くあります。

YEG後半は出向などさせて頂いた事で多くの凄いい経営者に出会う事で自分の考えや視野が広がる事で、時流を知り新規事業のヒントなどを数多く頂きました。

YEG活動は強要されるものではなく自分自身が主体です。仕事での立場や状況により参加が難しい時期もあります。私は自分の出来る範囲で精一杯参加し続けて来た結果本当に多くの学びました。

時代は常に変化しています。環境変化に対応して持続可能なビジネスの答えがYEGにあります。

皆さんも主体性に自分の出来る範囲で精一杯活動してYEGの本質を知って貰えたら嬉しいです。

27歳で入会し23年間大変お世話になりました。ありがとうございました！



達 川 竜 司

40周年の時に入会して、あつという間の10年だった気がします。

入る前から、まち歩きの事業でYEGって存在は知ってて、入会の際も月1回の例会と委員会に出るだけだからと言われてたはずなのに、いざ入ってみたら、新入会員で40周年事業のすべてを取り仕切るという話。入ったばかりのメンバーだけで、歴史も中身もよくわからない中、多くの先輩、OBOGの方達の助けも借りながら、週4〜5は集まって家族よりも多くの時間をメンバーと過ごしました。

そのおかげで、同期のメンバーとの絆も深まり、一つの事業をみんなで構築する楽しさや苦しみを短期間に味わうことが出来ました。2年目からは、卒業の年までずっと役員として過ごさせていただきました。大変事も多く、迷惑かけた事もあったと思うけど、自分の中では有意義な時間を過ごすことが出来、そのおかげで、大人になってからの気の許せる仲間がたくさん出来ました。

人前で話すのが苦手だった自分が、昔に比べたら話せるようになった。企画を議案書にまとめることが出来る様になった。普段は部下なんかいないから人に仕事を振るのが苦手など、YEGは、自分の得意分野をPRできたりするだけじゃなく、ただ仕事をしているだけでは克服できるかわからない、年齢の近い異業種の集まりだからこそ、自分たちがやりたい事をやらせてもらえるからこそ、そんな「気づき」を発見できる団体なんだと思います。

約10年間、本当にお世話になりました。



村上 武雄

入会して15年経ちましたが、最後の5年は全く役立たずで迷惑おかけしたことを先にお詫び申し上げますm(_ _)m

最初の10年は、断りながらも役員を6回ほどさせて頂き、事業もいくつか担当しました。僕の30代はYEGと共にありました。目を閉じるとあの日々が走馬灯のように浮かび上がります・・・
初めての事業だったYEGポロシャツデザインコンテスト、東京有楽町マリオンでみんなで勝ち

取ったキャリア教育アワード、40店参加でかつてない規模だったえきまえアントレ・キッズ、ほぼ寝ずに研修した2泊4日のシンガポール研修旅行、一度やってみたかった英語でしゃべらナイト例会・・・

どれも全力でやりましたし（もうやりたくはない）、どれも良き思い出です。

振り返ればYEGは新陳代謝の激しい団体でした。

東京のオフィス街のようにいつも煌々と電気がついているような団体でした。

でも実際は、毎年違う誰かが輝いていて、毎年スターが入れ替わるくらい、みんな無茶して頑張ってしまう不思議な魅力のある団体だったと思います。

僕のでやった事業が、いつか誰かの目に輝いているものであれば、幸いです。

長い間ありがとうございました。



山田 祐司

平成15年度、林洋三会長時代に入会させていただき、YEG所属21年目にして卒業を迎えることになりました。YEG活動を通して、通常では知り合えない多くの出会いがありました。そして、数えきれないほどの事業、役職という経験を通して自身の成長に大きくつながる気づき、学びを得ることができました。

21年の私のYEGを振り返ってみますと、入会した時代は、新入会員一同が集まる委員会はなく、紹介者が所属している委員会に配属に、当然ながら

委員会内での話についていけず、毎回参加しても意見も出せず理解もできずの連続でした。今で考えれば入会した年は、福井市で全国会長研修会という、日本YEG3大事業の1事業を福井YEGが主管で行う減多に経験できない大変な時に入会、しかも10月に入会していたので2月開催に向けて真只中一番熱量多い時期、理解できない、辞めようかなって思ったことも。ただやっていくうち大きな担当を任せられ、多くの先輩方に支えられ、何とかやり遂げた、それがなんとも言えない気持ちのいい経験を生み、私のYEG活動を21年間走り続けることができた礎であったと思います。

その後、数多くの役員、近畿ブロックYEG、日本YEGへの出向、そして最終には背筋を思いっきり伸ばしてもらった単体会長と多くの思い出をいただきました。最近卒業が近づくにつれて出会った方の顔や苦い経験、楽しかった先輩方との熱い語らい、その全てが山田の大きく成長する源へとつながりになったと感じさせられています。

YEGに入会してよかった。そして現役時代に会って来た皆さん、今まで大変お世話になりました、ありがとうございます。

最後に、ここ数年で入会された方で、YEGで活動することの意味、そして楽しさを実感されている方は多くはないと思います。時間はとられてしましますが、まずは役員及び事業を率先して行っていたいただきたいです、きっとYEGが面白くなってきました、各自の仕事、自事業では決して味わうことのできないYEGだからこそその達成感、自身の成長を感じられます、是非とも自分からその道を切り開いていってもらえたらと思います。自身の目的を達成できるよう頑張ってください。

令和6年度 会長挨拶



福井商工会議所青年部 令和6年度会長

細川 正人

会報福居をご覧の皆様、令和6年度会長の細川正人でございます。一年間どうぞ宜しくお願い致します。今年度はサステイナブルチャレンジ（個の挑戦、組織の進化、次代へ繋ぐ我らの道のスローガンの元一年間、活動していく予定です）。

福井では北陸新幹線の延伸による100年に一度のビジネスチャンスが到来し活気に湧く予感のする令和6年、一方でVUCAの時代と呼ばれ人口減少、限界自治体の増加や産業構造の変化などのマクロな要因もあり、私たちの環境は常に変化していると言えます。

この変化に対応するため、私たちは10年や20年先を見据え、自ら行動し、様々な事案に果敢に挑戦し、変化に適応する必要があると思います。

そのためには個人も企業も組織も、時代の変化を捉えて行動することが重要であると考えます。

福井YEGは青年経済人の集まりであり、志を同じくする者同士が出会い、共に行動し学びを得る組織です。

YEGとは単会活動だけでなく、福井県全域や近畿を含む全国の仲間との交流も提供し、新たな知識や情報を吸収する機会を提供しています。

地域の健全な発展や豊かな郷土を築くことが我らの使命であり、挑戦する場や失敗を恐れず様々な事にチャレンジできる雰囲気を作り出すことも重要と考えます。

本年度、福井YEGにとって大きな節目となる創立50周年を迎えます。

45周年に提唱した中期ビジョンの最終年度となり、次の節目の55周年に向けて新たなビジョンを描く年度となります。

少したとえ話になりますが、50年という長い旅路を歩んできた福井YEGは、まるで大きな木のようです。その根は、過去の先輩の献身と努力と汗を糧とし、しっかりと地に根を張り成長してきました。そして、今日の私たちが立派な枝と葉を茂らせているのも、先輩の功績があつてこそです。

その大木には、様々な季節がありました。時には風雨にさらされ、時には日々の陽光を浴びながら、成長してきました。過去の先輩は、その中大木を守り、育て、時には新しい芽を育て、時には枝を伸ばすことに力を尽くしました。そして、今日私たちは50年の節目を迎え、その大木の栄光を称えることができます。しかし、この大木はまだまだ成長する余地があります。未来に向けて、新しい芽を芽生えさせ、枝を伸ばし、より大きな実りをもたらすために、私たちは過去の先輩の意志を受け継ぎ、新たな挑戦に立ち向かっていく年度にしていきたいです。

そして新しい枝葉として、本年度は準備をしてきた、政策提言を実行する挑戦の年度となります。

若者代表として若者の声を届ける役目として政策提言を通じて、福井県の商工業をより活性化し、地域経済の発展に貢献することを目指し、地域社会と連携し、さらなる成長と発展に向けて努力を続けて参ります。今からの為の今を大切にしていきたい、今後も変化に適応し、次の50年に向けて挑戦していく所存です。そんな中でも楽しさは大切であり、YEG活動を楽しむ余裕を持ちながら、新たな組織構成による活動を通じて最大限のインパクトを残すことを目指していきます。

持続可能な組織づくりを加速させ、一人も取り

こぼすことなく組織が丸となって行動し、SustainableなChallengeができる1年にすることを目指します。

この、持続可能な組織づくりにおいて、拡大活動は非常に重要です。

なぜなら、組織が持続可能性を確保し続けるためには、成長と発展が必要不可欠だからです。組織が成長することで、当たり前ですが会費の収入が増加し、経済的な持続性も確保されます。会員が増えれば、組織は新たなプロジェクトやイニシアチブを展開し、将来の運営や計画を実行するためのより良いアイデアや運営方法等を確保できます。

また、成長する組織は、より多くの人々やコミュニティに影響を与える機会を持つことが出来ます。

その結果、社会的な課題への対応や地域貢献の範囲を拡大することもできます。

更には、成長する組織は、より多くの人を引き付けることができます。

組織内での様々な方に成長機会を提供することで、優秀な人が育成され、長期間にわたって組織に貢献することができます。

本年度、運営幹事を各委員会に設けさせていただいたのも、新たな活躍の場が増えると考えています。

以上を踏まえて、会員全てが個に挑戦し成長すること、自企業の発展を促進し、個も進化し、組織の進化に繋がり、誇りと活気ある進化をする中で、持続可能な価値のある活動を通じて地域社会との関わりを増やし、組織の魅力と認知度を高めます。

最後に、50年の歴史を次代へ継ぎ、紡ぎ、繋げて、先輩や他団体と共に、地域社会の発展に貢献し、関わる皆さんが幸せになる一年にしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

令和6年度委員長抱負

総務委員会

委員長



吉田 知志

本年度は福井YEGが50周年を迎える節目の年となります。昨年度は新入会員が多く入り、さらなる発展と活性化へむけて一歩踏み出した一年となりました。本年は50年を繋いできた先輩方との関係を再確認し、次の50年へのよりよい一歩となるように総務委員会として積極的な支援と行動をしていきたいと考えています。さて、細川会長から「総務委員会は組織の扇の要だから大事だよ」ということで役割をいただいた訳ですが、スムーズな運営ができることはもちろん、福井YEGの持つ可能性をどう広げていくかに貢献することが課題の一つかなと思います。

総務委員会ではZoomやWebサイト・各種SNS・エンジェルタッチ（AT）などツールを活用して、早い情報共有と発信に取り組むことで、早めにメンバーに予定を入れてもらえるように心がけ、対外的にも福井YEGを知ってもらう機会を増やします。また組織全体が活性化するように、今年度に新たに設けられる運営幹事・プロジェクトリーダー達と連携して動き、まずは出席回答100%、委員会を超えたコミュニケーション・交流の増加、結果アクティブなメンバーが増えるようにと下支えをしていきます。

期日を決め、期日を守り、裏方で計画的に地道

に、行動と改善を積み重ねていくということを「一年間やり通す」というところが総務委員会の要なのだと思います。勢いでやるのではなく確実な行動の積み重ねというのは苦手なのですが、自身の成長とYEGの成長を重ね、メンバーと一緒に結果楽しい一年だったねと言えるように取り組んでいきたいと思っています。

昨年入会の身で委員長をするに当たり、至らぬ点は多々あるかと思いますが、委員会メンバーの力を借りながら、「会員の会員による会員のための総務委員会」をモットーに一年間取り組んで参りますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

50周年LP委員会

委員長



中川 知士

令和6年度50周年LP委員会の委員長を全力で務めさせていただきます中川知士でございます。久しぶりの委員長という事で武者震いが止まりませんが（笑）、愛と情熱をもって現改突破していく所存です。

皆さんもご存じかと思いますが、令和6年度は福井YEG創立50周年という節目の年になります。半世紀という長く尊い歴史がこの団体にはあります。歴代の会長をはじめとするOB・OGの皆様方が今日まで継ぎ紡ぎ繋いで頂いたからこそ、「今」を我々は福井YEGとして活動ができています。心より感謝申し上げます。

当委員会では福井YEG創立50周年記念式典の成功を目指して突き進んでまいります。フェニックスプラザにて総勢500人規模を想定し盛大な記念式典を考えております。式典の中では先輩方に感

謝を伝え、初めての「政策提言」や新たな「中期ビジョン」の発表を執り行い、今後の未来の方向性を定め、来場者全ての方々に今のYEGの魅力を、来賓の方々には今のYEGの力を感じてもらえるような設えをしていきます。それに伴い「サステイナブルなチャレンジ」をしていくための記念事業や記念ゴルフコンペ、大懇親会も行いたいと考えています。県内外からYEGの同志が集い、皆で50周年を盛り上げていく中で福井YEGメンバーには誇り（プライド）を感じてほしいと強く願っています。

なぜ周年事業を行うのか考えたことがありません。山の中に生息している「竹」はなぜあんなに長くしなやかに成長を続けているのか。その答えとしては「節」があるからです。成長する過程で節がなければ途中で折れてしまいます。節があるからどこまでも長く成長続けれるのだと思います。YEGも同様に周年という節をしっかりと考えることで未来永劫続くことができるのだと考えます。「今はいままでの今でありこれから今である」過去現在未来をしっかりと考える周年事業になるようにメンバー全員で成し遂げていきたいと考えております。

最後になりますが、この50周年を盛り上げ成功裡に導くためには会員1人1人のお力が不可欠になります。我々委員会メンバーがしっかりとエンジンとなって動き出しますので、みんなもそれにしがみついて共に突き進んでいきましょう。1年間何卒宜しくお願い致します。



NEXT☆STAR委員会

委員長

朝田 健一

福井 YEG に初めて入会すると新入会員委員会に配属されて、YEG とはどのような団体か、YEG に入るメリットや心得、交流を中心とした例会等の構築と運営、エンジェルタッチの使い方をなどを今日まで行っておりました。

これらの新入会員委員会の活動として、

1. 仲間づくりを行いながら仕事のネットワークを広げていくビジネス交流。
2. 商工会議所を通しての様々な交流活動や研修事業からの学びを得ていく自己研鑽。
3. 自企業の活動の場である地域を元気にする事で地元企業に貢献し、自らも発展する地域貢献と地域活性化。
4. YEG 活動の中で地域の課題や自企業も含めた地域企業の課題を見つけて商工会議所や行政への提言。

これら4つの活動を行う事ができるのは YEG 会員としての特権であるがために、利用しない人入会している意味がないと言っても過言ではありません。口頭でいくら説明をしても経験上、理解をなかなか得られないので、まずは委員会と例会に参加する事を促す！当たり前の事ですが、これに尽きます。

ただ現状として、様々な仕事等の諸事情はあるとは思いますが、連続して委員会や例会に欠席される会員が一定数いらっしゃいます。

今後この様な会員を増やさないためにも新入会員委員会としては、スローガン「縦と横の繋がり」に基づいた委員会運営と例会運営を行い、100パー

セントの出欠回答と、YEG の例会や事業、委員会や各種大会に参加して楽しかった、ためになった、これからも参加したいと思ってもらえる会員が1人でも多く増えていく様に一緒に寄り添って参ります。

改めて、令和6年度の新入会員の委員会名を「NEXT☆STAR委員会」とさせて頂きました。自企業のみならず、福井 YEG として福井の次世代を担うスターとして今後もますます輝き続ける新入会員を絶賛募集中です！

20歳から45歳までの福井商工会議所の会員事業所の経営者または後継者、将来を担う役員候補者であれば入会できます！

是非、YEG との交流を楽しみながらたくさんの事を学び合い、自企業に地域に対して NEXT☆STAR として盛り上げていきましょう！



bizhack委員会

委員長

東 昌 貴

現代日本は、未曾有の人口減少時代に突入しています。

私たち経営者にとって、人口減少とはマーケットの縮小・労働力の低下・競争の激化に繋がり、重要な課題と言えます。この時代の変化を感じ、未来を予測しながら変化に対応した事業展開を行うことが求められています。

会長の意向は「誰一人として取り残さない組織体制と運用」であり、それに則った取り組みを実施していく方針です。

会員の大多数は、コンパクトな規模の中小企業です。自社ビジネスの活性化や人脈・仲間づくり、

事業に活かせる情報の獲得を目的に活動されている方もいらっしゃるでしょう。

そのような日々懸命に進んでいる会員メンバーに向けて「ネットや既存人脈とはまた異なる、事業に活かせる多角的な情報が獲得できる会」経営の中でどうしても生じてしまう視点・思考の偏りを、解消できる会」を目指します。

まずは「人口減少」という課題に備え、対策を明日からスタートさせます。

方向性としては「事業の効率化」と「ボーダレス化（既存テリトリーからの越境）」を掲げています。

『事業の効率化』は、コスト削減や省人化、ヒト・モノ・カネ・情報・時間・知的財産等の経営資源の効率化を指します。

また、『ボーダレス化（既存テリトリーからの越境）』は、県外・国外マーケットへの進出や、既存の職種や商品コンテンツを革新するといった内容を指しています。

多忙な会員メンバーに向け、簡単で着しやすい具体的施策から、「事業の効率化・時短」に挑戦する機会を、提供していきます。

例えば、導入障壁が低い施策の一例として、Google の無料サービスがあります。

Gmail や Google ドライブ、ドキュメントやスプレッドシート等、クラウドを通して社内の情報共有・連携がより向上します。

Google からの講師を招いてのセミナーを実施、体験できる例会を行ないます。

最終月である2025年3月には、渋谷ストリームや六本木ヒルズにオフィスを構える、グローバル合同会社への会社見学を予定しています。

世界的にも TOP クラス企業である Google の日本法人を直に見ることで、学べることや刺激と

なることが大いにあると考えています。
YEGだからこそできること、YEGでしかできないことから、会員皆様のビジネスの活性化や知見的・精神的なプラスの一助となるよう取り組んでいきます。



ミライLab♡委員会

委員長

小嶋 宏樹

福井YEGは、地方都市で事業を営む青年経済人の集合体です。そんな我々が、継続的に事業を続ける上で大切なのが、ヒトだと思います。製品、サービス、お金があっても、ヒトがいなければ、成り立ちません。しかしながら、福井の人口は、減少数・減少幅を毎年更新しています。令和5年度に福井市の高校生約2000人にアンケートを行った所、約6割の生徒が福井を好きと答えましたが、実際に福井でU・Iターンする人は6割もありません。福井で働くところがないという回答もありました。リクルートサイトや企業説明会だけで、企業情報を調べるのは限界があり、福井にも良い企業があることに気付けないのではないかと思います。

そこで、福井YEGと若者が協働することで、学校生活やリクルートサイトでは知ることの出来ない情報（様々な業種、起業家の話）を知れたり、将来について相談できる場を提供できると良いなと思います。協動を通して、福井で就職したい、福井で起業してみたいというヒトが1人でも増えたら嬉しいなと思います。しかし、福井YEGは、若者にあまり認知されておらず、若者から声をかけられる事はあまりありません。そこで今年度は、

若者の福井YEGへの認知を高めると共に、今後もYEGに係わっていきたい・相談したいと思ってもらえる様、若者が活躍できる場作りの企画・運営を行いたいと思います。場づくりとは、物理的な場だけでなく、ヒトとヒトとがつながり可能性を引き出すことと捉え、前例にとらわれることなく挑戦していきます。

私は、歴史を繋いできた先輩方に遠く及びませんが、ミライが少しでも良くなるようにYEG活動を行っていききたいと思っています。

本年度メンバーの皆さん、当委員会スローガン『No Challenge No Future』挑戦なくしてミライはありません。若者を育てることは、将来の顧客・ビジネスパートナーを育てることになり自企業のミライに繋がります。また、若者も、想像以上に色々なことにチャレンジしていて、情熱もあるので、学ぶことも多く、新しい思考、新たなビジネスチャンスに繋がると思いますので、若者とともに協働していきましょう。どうか皆様のお力を1年間お貸しください！よろしく願います。



うちの福まち委員会

委員長

南 雄策

令和6年は「北陸新幹線福井駅開業」を迎える福井にとって特別な年になりそうです。ワクワク期待感もありつつ、実際どうなるのかなと若干の不安感もあるような気がします。どちらにせよこれまで以上に国内外からの観光客が増えることが予想される中で、福井の人々はこういった外から来た人に、福井の魅力を堂々と伝えることはでき

るでしょうか。いえ、みんながみんな伝える必要はないかもしれませんが。私たちの普段の習慣や食などに「福井らしさ」がたくさん潜んでいると思うからです。

一方でそれをわたし達自身が「福井の魅力」として認識することは大切なことだと思います。それによって愛着が持てたり、誇りに感じたりできるのだと思うからです。この委員会では本来価値が高いものであるのに下火になりつつある文化的なものを掘り起こして次代へつないでいくことや、新たな福井の魅力をコンテンツとして構築するようなことを通して「福井の魅力」発信の一助ができればと思っています。また私もこの委員会活動を通して「福井の魅力」について勉強していきたいです。

私自身、委員長を務めさせていただくことは初めてであり不安なことはもちろんありますが、実はそこまで心配もしていません。それは私がYEGに入会してまだ2年間という短さの中ではありますが、経験豊富で頼れる先輩、前向きで積極的な同期や新入会員メンバーを間近で見てきたからです。つまり私はみなさんをあてにしまくっています。

そんな私ではありますが、委員長の役目をさせていただく以上、精一杯やりたいと思っています。メンバーのみなさまにおかれましては、時に優しく、時に厳しく、（優しさ多めで）支えていただければと思います。我々が、またみんなが「これがうちの福井や！」と自信をもって誇れるようなまちづくりに貢献していきましょう！1年間どうぞよろしく願います！

新入会員紹介



東 昌 貴

令和5年度入会、企画広告会社「株式会社ヘッドライト」を経営しております、東昌貴です。
マーケティングとクリエイティブのチカラを活用し、お客様の課題解決のサポートを行なっております。

課題に適した、多彩なクリエイターとプロジェクトチームを組み、WEB・SNS広告運用代行、マスメディア広告、HP・動画・パンフレット、チラシ等のツール制作、ブランディング、採用プロデュース、集客イベントを通じ、お客様の課題解決、目標達成へと導く最善のプロデュースをご提案いたします。

大学卒業後ウララコミュニケーションズへ入社、15年間「情報発信・企業店舗プロデュース・街づくり」に取り組んできました。YEGという経済団体で地域、全国、世界の3つのマーケットで皆さまと大きな成果を生み出してみたいと思います。

今後とも、宜しくお願い致します。



市 井 菜 月

初めまして。

この度、福井市YEGに入会させて頂くことになりました、市井菜月です。

福井市の繁華街、片町でカラオケBARを経営しております。

人付き合いは得意ではありませんし、経営者としてもまだまだ不十分な所がありますが、福井YEGに入会し、自分の成長に繋がっていければと思っています。

1人でお店をしていますので中々、委員会など参加が難しかったりしますが、気持ちは皆様と福井YEGを盛り上げていきたいと思っています。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



伊 藤 幸 平

令和5年4月から福井YEGに入会させていただきました。福井の裁判所の目の前で「伊藤・野条法律事務所」という事務所を構え、業務を行っています。

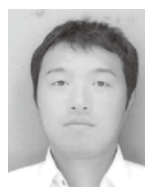
仕事の内容としては交通事故や離婚が多いですが、金銭問題や土地問題、会社の契約書チェック等、何でも対応しております。仕事や家庭でのストレスを肩代わりし、安心して日常生活を送る手



鬼 形 竜 也

助けをしたいがモットーで活動しておりますので、お困りごとがあれば気楽にご相談ください。

令和5年度入会のCUBE Serviceの鬼形竜也と申します。業務内容としては、ユニットバス、システムキッチンの施工を行っております。YEGに入会をして、沢山の方と繋がりを持つことが出来ました。おかげさまで楽しく活動をさせていただいております。また、日頃は経験できないことや、新しい学びがあり、自分が進化していくのを感じております。9月例会で司会に目覚め、次年度以降も司会に困ったら僕を指名してください！どの委員会からでもOKです！



鎌 田 直 樹

初めまして、前任者が転勤したため、この度、福井YEGに入会させて頂きました。私は、団体行動が苦手かつ人見知りもするので入会当初は憂鬱でしたが、委員会・例会に出席を重ねていくうちに、素敵な先輩／同期に出会えることができ幸運でした。

特に先輩方を見ていると、自分自身を見直す良ききっかけにもなっています。

今後とも宜しくお願いします。
弊社は、グループスローガンである【安心のカ

タチを造る」をモットーとし、杭地業工事（コンクリート杭・鋼管杭）業を地質調査・設計・製造・販売・施工までを一貫して手掛けております。新築・増築などお考えの際は、地盤については是非ご相談ください。



木内 一雄

皆様初めまして。この度福井YEGに入会させて頂くことになりました木内と申します。福井市順化にある「ラウンジサロン」でマネージャーをしております。今年の後半には新店舗事業が始まる事もあり、経営者がほとんどのYEGで色々と勉強させて頂ければと考えております。また活動を通じて出合いを大切にし、社会貢献もしていきたいです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します



木戸 泉

この度福井YEGに入会させて頂きました、木戸と申します。

事業としては、ECサイト制作・web制作事業、動画制作、写真撮影事業を行っております。

社のコンセプトは、視覚的なワクワク感を提供することです。

第一印象は0.2秒で決まると言われています。そ

の0.2秒で心を捉え、視覚から感じる無限の驚きを追求します。

経営者としても社会人としてもまだまだ未熟なので福井YEGで様々な方との交流を通していろいろ吸収していきたいと考えております。よろしく願いいたします。



小寺 祐次郎

私は令和5年4月に、兄と会員交代という形で入会させて頂きました御素麺屋の小寺祐次郎です。

交代という形でしたので、既存会員の方からは認知されている部分も、私の方は知らない方がたくさんなのでどうぞよろしく可愛がってやって下さい。

また新入会員が非常に多い年の入会ということ、こちらもまた人の名前と顔を覚えるのに苦労しましたが、楽しいメンバーが大勢いるので楽しく活動出来ました。

YEGでは特に「交流」と「楽しむ」ということをモットーに活動していけたらと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



櫻川 幸親

「株式会社アーサ」という建築設計事務所の代表を務めております、櫻川幸親（ゆきちか）です。

「耐震診断・構造計算」を得意としている、ちよつと変わった設計事務所として、建物の骨組みや基礎の設計などをさせて頂いております。

「ウチの建物、地震とか大丈夫？」「改修やメンテナンスどうでしょ？」と感じていたらご相談ください。設計から工事完成まで全て対応いたします。（もちろん、新築も大歓迎！）

私が入会を決めたのは他でもなく、「多くの人と仲良くなりたい」の一言に尽きます。同じ思いの方々が集まっているのを感じ、とても心地いいです。よって、懇親会は100%参加でいきますので、よろしく願いいたします。



菅野 佑斗

皆さま、初めまして

福井テレビの菅野と申します。入社以来、ずっと報道分野にりましたが、今年度から営業部に異動となり、入会しました。主な仕事といえば、CMのセールスをしております。日々、セールスをして思うのは、福井にも魅力的な企業がたくさんあるということです。私自身、仕事ではもちろんのこと、YEGでも人脈を広げていき、自身自身を磨いていければと思っております。よろしく願いいたします。



須賀原 史和

皆様、お世話になります。ドキドキ・ハラハラ・須賀原です！明るさと根性を取り柄ですが、寂しがり屋なので、是非飲みに誘ってくださいね！弊社は、ペリー来航の次の年から創業し、本年約180年を迎える建築資材から事業変革した工務店です。住宅・施設・店舗などのお仕事をしている中で、素敵なご縁をいただいております。YEGに所属させていただき、自分磨きをするなかで、ご縁を大切にしていけたらと思います。宜しく願いいたします。



竹島 剣心

令和4年4月に入会させていただきましたケンソウ（株）竹島と申します。
【いい仕事をする 俺たちは塗装職人のプロだから、誰にも文句は言わせない】
を理念に掲げ、大規模工事から住宅まで幅広く塗装工事を行っております。
もし、お家を塗り替えたいな、など御座いましたら、お声かけてください。
次の日に駆け付けます。

若くしてYEGに加入したからには、自己成長の機会と捉え、意欲的に活動していき、色んな人と出会い、色んな人から学び仕事にも繋げていきたいなと思います。



谷川 俊太郎

昨年はYEGの活動を通して、様々な出会いがあり、とても充実した一年でした。
今後他業種の方々ともに大胆に関わらせていただき、若い視点からの意見もしっかりと出し、地域に少しでも貢献出来たらと考えております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

令和5年4月から入会させて頂きました、中央あすわ税理士法人の谷川俊太郎と申します。仕事は税理士業ですが、より経営者の方の身近なパートナーとして頼られる存在になりたいと考えております。「意思決定のパートナー」として経営者の方のお力になっていきたいです。その一環として福井YEGでも開催させて頂いております。その一環として福井YEGでも開催させて頂いております。経営と会計をゲームを通じて手軽に楽しく学べるMQ戦略ゲーム研修（MG研修）のインストラクターもさせて頂いております。
YEGの皆様との活動や交流を通じて、福井を盛り上げる、日本を元気にしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



玉川 真己

株式会社JIGUROの玉川真己です。
どうぞよろしくお願い致します。
わたしは株式会社山王工業という建設業をしながら



中川 陽如

から2019年7月に福井市片町にJIGUROというバーを開店し2022年11月に韓国料理ペゴパ、2023年10月には鶏居酒屋トリノトリコを開店致しました。
皆様是非来てください！また、福井YEGでは今後も幅広く色々な事に挑戦していききたいと思っています。

令和4年度に入会させていただきました地域ブランドデザイン'sの中川と申します。地域や企業のブランドづくりをサポートしております。
地域の伝統文化をより楽しくすることや、持続可能な地域社会づくりに情熱を注ぎ続けて18年が経ちました。
YEG活動では、参加する楽しさや多くの方々と繋がりを深めることが出来る喜びを感じる日々です。
今後ともよろしくお願い致します。



西田 伊万里

皆様初めまして！
この度福井YEGに入会させていただきました西田伊万里です。
福井市片町で「Imari」というラウンジを経営

しております。

一度来たら癖になり、楽しかったーという気持ちで帰っていただけるようなお店を目指しております。

福井YEGでは沢山の方々と交流の輪を広げていきたいと思っています。まだまだ分からない事だらけの未熟者ですがご指導の程宜しくお願いいたします。



間 麗

令和5年4月に入会させて頂きました、森川不動産株式会社の間 麗と申します。

弊社は、不動産業をしております。部門といたしまして、不動産売買、不動産賃貸、賃貸管理がありまして、その中で、私は不動産売買を専門に行っております。

YEG活動を通じて、異業種の会員様と交流し、成長していきたいと思っています。

また、福井の発展に少しでも貢献できればと思います。

どうぞ宜しくお願いいたします。



濱 谷 愛 美

初めまして。

福井YEGに入会させていただきました。

濱谷愛美と申します。

福井市順化にて、「ラウンジ心」というお店を2019年1月から経営しております。

カラオケルーム、ボックス席、カウンター席などがございます。

ご来店いただいた皆さまに日々の疲れを癒していただけるような

お店作りを日々、目標に努めております。

皆さまも是非、お近くにお越しの際には、お立ち寄りいただけたらと思います。

自分自身、まだまだ未熟な経営者でございます。

福井YEGに入会させていただいて、様々な先輩の方々と交流させていただき経営者の心を勉強させていただければと思います。

2024年3月、北陸新幹線福井開業を迎えます。

皆さまのお力添えのもと、地元福井に微力ながら貢献できればと思います。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



原 田 愛 美

はじめまして。

この度福井YEGに入会させていただきました。原田愛美です。

福井市順化（片町）のCLUB ROCHERというお店でママを務めさせていただいております。

片町の中でも新しいビルで、ゆったりとしたカウンター、ボックスのお席、カラオケのできる個室も3部屋ございます。

是非メンバーの皆様にご来店に来て頂ければと思います。

YEGを通して出会える皆様との繋がりがやご縁を大切にしていきたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



東 川 貴 洋

昨年会いました株式会社新星設備代表取締役社長東川貴洋です。私たちの仕事は、給排水設備やガス、空調設備など、日々の暮らしや産業活動に不可欠なライフラインの設計・施工です。

戸建て住宅から集合住宅、ビル、学校、病院等様々な建築物や立地条件に合わせて、独自のノウハウによる安心設計と綿密な計画立案、土木工事から配管工事、設備工事と幅広い分野の対応力と人材を備えています。

地域の社会基盤や街づくりに携わり、安心・安全な暮らしを支えます。そして、これからもYEGをとうしていろいろな方がたと交流を深め成長していきたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



東 村 陽 一

司法書士法人CLEARの東村です。

福井市大手で司法書士事務所をしています。

不動産の名義に関する登記手続、設立や役員の登記といった会社の登記手続、その他相続に関する

る手続のお手伝いをしております。
福井のことをもっと良く知る機会にしていけたらと思いますので、宜しくお願い致します。

前田 圭 吾

皆様初めまして、この度YEGに新入会させて頂きました。前田圭吾で御座います。昼職は証券会社の代理店及びコンサル業務を営んでいる株式会社 twenty two を経営、不動産屋、行政書士業務を行っているサトウ不動産、内装工事業及び佐藤行政書士事務所を経営、また夜職ではBIBI ADELIE を昨年12月25日より営業しております。私は独立するまで福井信用金庫にて銀行員を3年経験し、金融の流れを学んだのち独立いたしました。

YEG活動を通し、色々な経営者の方々と関わりを持ち、考え方、経営のやり方等様々な分野で勉強させて頂いております。

経営者として、人間としてまだまだ未熟であり体も無理をすることばかりですが、日々吸収してYEG活動を行っていきます。



三田村 仁 嗣

この度、入会させて頂きました(有)三田村興業の三田村仁嗣と申します。

弊社は自動車リサイクル、貴金属・農機具買い

取りを行っております。
スクラップ等ございましたら、お声がけください。

YEGの活動を通して、様々な業種の方と交流させて頂いたことで楽しみながら自分自身成長できるようにと生まれ育った福井の発展に貢献していきたいと思っております。

今後とも何卒よろしくお願い致します。



南 智 史

2023年度YEGへ入会させて頂きました南智史でございます。私は製造アウトソーシングの株式会社プロダクト・マイスター(鯖江市紀町)にてお仕事をさせて頂いております。人付き合いは苦手な方ですが、福井YEGへ入会し様々な業種の方と活動することにより成長につながればと考えております。私は製造請負、製造派遣、物流業務など、ものづくりを通じて人材育成し地域社会に貢献するという理念で日々奮闘させて頂いております。今後は福井YEGの一員として社会貢献や地域活動に参加していきたいと考えております。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



宮 地 喜 利

今年度よりYEGに入会しました、みどり丸水産の宮地キリです。越前町の越前漁港にて漁師業をしております。また、越前カニやあま海老などを主に鮮魚販売を行っております。漁師直通での販売になりますので他より断然安く購入できます。いつでも連絡ください。

私は社会経験がありませんのでこの機会に福井YEGの皆さんのお力添えのもと自身の成長と事業を拡大することを目標に尽力します。どうぞよろしく申し上げます。



村 中 洋 文

この度、福井YEGに入会させて頂く事になりました保険の代理店を営んでいますアンシーズ株式会社の村中洋文(ムラナカヒロフミ)と申します。保険全般を取り扱っています。令和6年度からNISAなど資金のやりくりなども対応できるようにあります。

私に足りない精神力、対応力を伸ばしていきたいと思えます。

体力には自信がありますので色んな活動に参加し福井を盛り上げていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



油屋 昌宏

株式会社ABコーポレーションの油屋です。

弊社は建築・土木分野の中で、主に地盤補強、液状化対策、地盤調査を行っています。

他にもローソンの運営や高校向けに教材の販売もしています。

多様な業種や背景をお持ちの諸先輩方に、YEGやビジネスについてご教授いただければ幸いです。

YEG活動もビジネスも楽しむことで、地域の発展に繋がっていただくと考えています。よろしくお願いたします！



文殊 四郎 崇之

福井市を中心に水道工事と空調工事を営んでおります(株)文殊四郎管工商会の文殊四郎と申します。本管工事と言われる道路の中に水道管を敷設する工事から住宅や施設等の建物の内外部の水道や空調工事を主に行っております。

水と空気は人々が暮らすうえで必要不可欠なものです。建築物を建てそこで人が生活や仕事をするための重要な設備であり人体でいえばの管であると考えています。私たちは仕事を通して人の暮らしや社会を支えているのだという自覚とプライドを持って日々業務を行っています。YEGではその活動を通して福井に暮らす人々や地域社会

への理解を深めて、仕事にフィードバックをすることで、人や社会をより良くできる人間と会社に成長していきたいと思っています。よろしくお願いたします。



柳澤 瑠璃

初めまして。この度福井YEGに入会させていただきます。いただきました柳澤瑠璃です。

福井市片町のエルミオーレビル4階で、Lounge Black viaというお店を経営しています。

お陰様で10年経ちました。カラオケもあり、個人様、団体様も大歓迎です。アットホームなお店なので、皆様機会がありましたら是非よろしくお願いたします。

まだまだ未熟者で至らない所ばかりですが、これから色んな方と繋がって、色んな経験をしていきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



藪 慶一郎

令和5年4月から福井YEGに入会させていただきました(有)藪組の藪 慶一郎と申します。

弊社は坂井市春江町に事務所、坂井市丸岡町に作業所がある型枠工事と木造工事を営んでいる会社です。

YEGの活動を通して異職業の先輩や同期の会

員様方と交流して自分自身の成長そして、地域社会の発展に貢献していきたいと思っています。宜しくお願申し上げます。

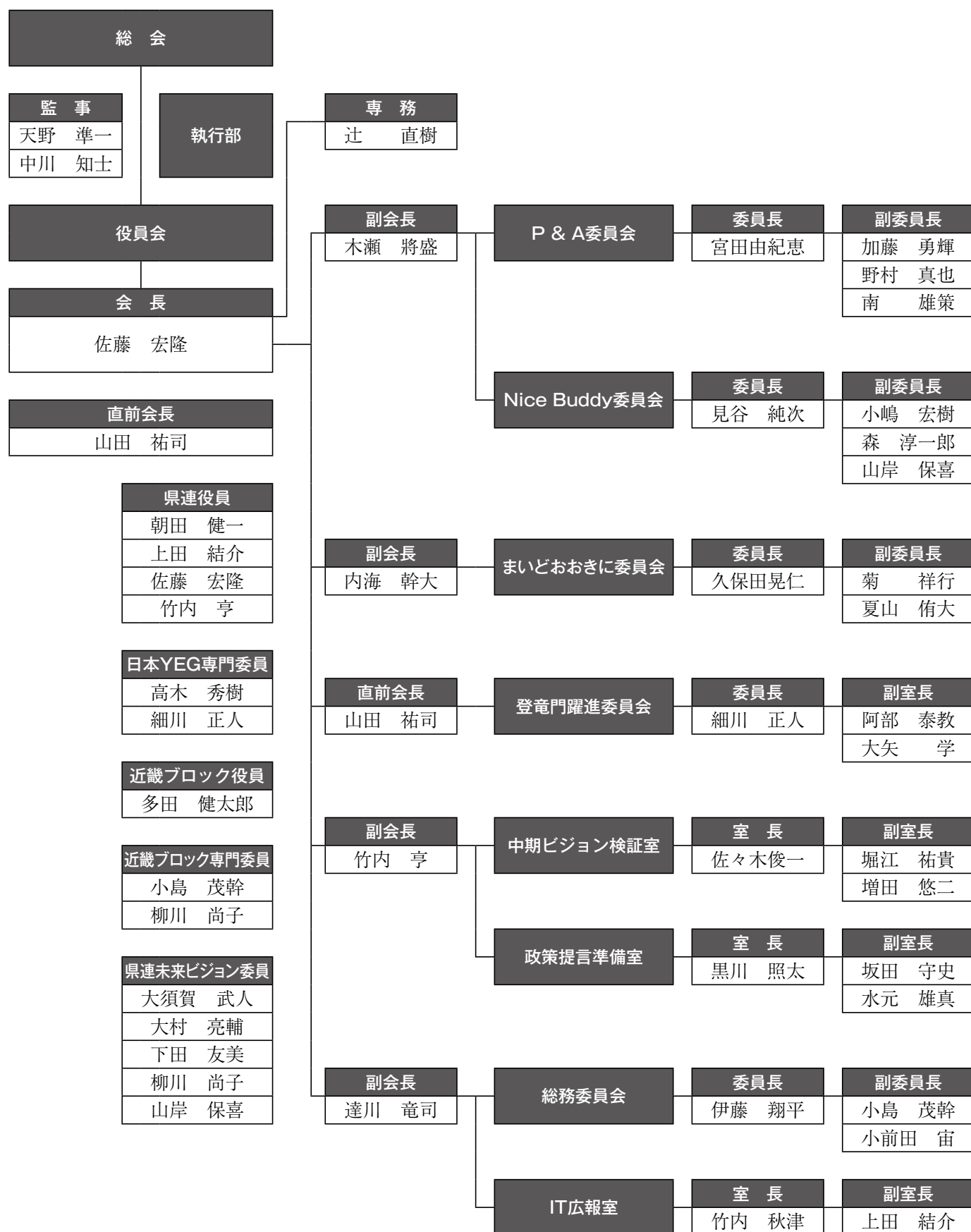


吉田 知志

2023年4月入会の(株)吉光工業の吉田知志です。仕事は屋根・外壁・雨樋の専門工事を行っています。父の跡を継いで私で3代目、創業60年となりました。自社職人6名で目の行き届く工事を心がけてます。自社商品の越前瓦で福井の繊維を表現した「瓦で織る壁『wovenceramic』」を全国・世界に販売していきたいなど思っております。60歳のため1年で卒業予定でしたが延長することとなり、もうしばらくお世話になります。よろしくお願致します。



令和5年度 福井商工会議所青年部 組織図



福井商工会議所青年部会員 企業一覧

氏 名	企 業 名
明瀬 達哉	やきにく 尋
秋田 貴洋	(株)エースカンパニー
朝田 健一	(有)アサダモータース
浅野 芳郎	エジソンシステム(株)
東 昌貴	(株)HEADLIGHT
油屋 昌宏	(株)ABコーポレーション
阿部 泰教	(株)オフィスサポートBP
天野 準一	(株)天たつ
石橋 道友	石橋建材(株)
石間 光太郎	(株)三栄商会
石丸 隆夫	(有)石丸館
板坂 祐也	(株)Up the Mark
市井 菜月	こびと
井戸 啓太	(株)IDO建板社
伊藤 幸平	伊藤・野条法律事務所
伊藤 佐知	CLUB ROCHER
伊藤 翔平	(有)いとう印刷
伊藤 政臣	福井特撮プロジェクト
稲葉 大樹	福井腰痛整体かるらく
井上 淳次	積水ハウス(株)北陸シャーマン支店
上田 結介	(同)上田テクニカ
上松 悦志	(株)ウエマツ
内海 幹大	丸勝建築(株)
大岡 亮平	(株)O3dining
大須賀 武人	大須賀技建(株)
太田 尚浩	(株)太田屋
大滝 智己	MRTホールディングス(株)
大原 愛	(株)l.corporation
大村 亮輔	玩具問屋 大村商店
大矢 学	(株)FPデザイン
小嶋 宏樹	大高酵素福井販売
鬼形 竜也	CUBE Service
海道 雅俊	(株)ナカテック
加藤 勇輝	
鎌田 直樹	ホクコンマテリアル(株)北陸支店
川中 優	焼肉家 優
木内 一雄	(株)Shungo
菊 祥行	サンキ(株)
木瀬 将盛	(株)かみみや
北川 直	(株)北川
木戸 泉	(株)vividcreation
木下 拓也	(株)福井新聞社
木下 剛男	(株)マルキヤ宣伝社
木村 あいこ	(有)グラヴィ
木村 知	木村知税理士事務所
久保田 晃仁	久保田製菓(有)
黒川 照太	(株)TSUKIWA
小島 茂幹	(株)タイニーランド

氏 名	企 業 名
小寺 祐次郎	(株)御素麺屋
小前田 宙	弁護士法人ふくい総合法律事務所
小森 康史	(株)ダイナテック
酒井 昌彦	(株)ニチセン商事
梶原 右章	Ai support
坂田 守史	(株)デザインスタジオ・ピネン
櫻川 幸親	(株)アーサ
佐々木 晃一	(株)佐々木一級建築士事務所
佐々木 俊一	(株)クリーニング白洋舎
佐々木 健夫	(株)佐々木電業社
佐藤 宏隆	(有)詩季
嶋崎 真幸	(株)コーワ
清水 孝行	清水法律事務所
下田 友美	CHARME
菅野 佑斗	福井テレビジョン放送(株)
須賀原 史和	casaかわいち
高木 秀樹	(株)アクティブパートナー
高田 和良	アフラック生命保険(株)福井支社
瀧波 智博	リブ・クリエイト
竹内 秋津	(株)パソコンビニ福井
竹内 治	(有)タカラアート
竹内 耕一郎	丸越プリント(株)
竹内 亨	酒のタケウチ
竹島 剣心	ケンソウ(株)
多田 健太郎	(株)米五
多田 有希	福井放送(株)
達川 竜司	トライドゥ カメラ
田中 俊之	国見水族館
谷川 俊太郎	中央あすわ税理士法人
田畑 健太郎	(株)越前かに成前
玉川 真己	(株)JIGURO
辻 直樹	(株)キャンピオ辻万
土井 梨津子	Doi Production+
中川 陽如	地域ブランドデザイン's
中川 知士	(有)中川鉄工
中野 良祐	(株)UMITOMA
中村 建哉	(株)ライフライン
中山 博隆	丸高コンクリート工業(株)
夏山 侑大	手品家福井店
西田 伊万里	imari
西本 未翔	日本語おしゃべり
布目 雄一郎	ファイナンシャル・ジャパン(株)
野村 真也	ブルデンシャル生命保険(株)
間 麗	森川不動産(株)
浜谷 愛美	(株)HKR
原田愛美	CLUB ROCHER
東川貴洋	(有)新星設備
東村 陽一	司法書士CLEAR

氏 名	企 業 名
樋田 光生	福井精米(株)
廣田 和幸	(株)わこうフーズ
藤井 雄亢	福貨通運(株)
細川 正人	(株)ソーホーズインターナショナル
堀 真人	(株)ホリチューボー
堀江 俊一	(株)福井メディックス
堀江 成禎	(有)堀江商店
堀江 祐貴	(株)ウウキ工房
前川 将隆	(株)アバスライン
前田 和也	(株)E-GANG
前田 圭吾	(株)Twenty Two
増田 悠二	北鋼シャーリング(株)
樹谷 妃香里	Grande
畠田 優介	(株)オーシャン・クイーン
松木 崇生	(有)ハクレイ土地建物
松宮 正和	(株)松宮設計事務所
松村 基	(有)うな信
水元 雄真	(株)みずもと
見谷 純次	(株)見谷組
三田村 仁嗣	(有)三田村興業
南 智史	(株)プロダクトマイスター
南 雄策	(株)STUDIO-CASA
宮田 由紀恵	ラーナニーニャ
宮地 喜利	みどり丸水産(株)
村上 武雄	村上大理石(株)
村中 洋文	アンシーズ(株)
森 淳一郎	大吉餅
文殊四郎 崇之	(株)文殊四郎管工商会
柳川 尚子	NIGHT Sweets Bar Salice
柳澤 瑠璃	Lounge Blackdia
藪 慶一郎	(有)藪組
山内 魁	蕎麦dining一福
山浦 成暁	(株)ベストワーク
山岸 保喜	(株)山岸和紙店
山口 健太	Bar primo
山口 千春	(株)カイロオフィスYOU癒佑
山田 修揮	よしな
山田 祐司	山田商店
横山 竜三	(株)JTБ 福井支店
吉岡 正博	吉岡幸(株)
吉川 知宏	吉川コーク(有)
吉田 純也	(株)福井新聞PRセンター
吉田 達郎	(株)カリョー
吉田 智晴	(株)竹下印刷所
吉田 知志	(株)吉光工業
吉村 哲一	(株)太田忍工務店

あじさい会通信

会長 宇佐美 嘉一

あじさい会は青年部が15周年迎えた平成2年に設立され今年度は94名が在籍しており、青年部創立時の80歳代メンバーから昨年春に青年部を卒業したメンバーまで幅広い年齢の者が、青年部OB仲間として活動をしております。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、あじさい会もウイズコロナを模索しながら以前のような活動を少しずつ再開し始めました。

6月に総会と懇親会を開催。10月14・17日には、15年以上ぶりに海外研修として台湾（台北）へ11名で訪問し、先進的なビジネス、経済活動状況、中国との関係や歴史などを視察し現状と今後について多くを学んでまいりました。1月には、「産学連携クロスオーバーステム」の卓話をお聞きする研修会を開き、企業と大学の新しいマッチングシステムについて学んだあと新年会を実施いたしました。事業としては大きなものではありませんでしたが、メンバー同士が久々に顔を突き合わせ話し合い、多くの情報交換が出来たこと、そして何より仲間の笑顔をみられたことは、公私において大きな喜びとなりました。これは、現役YEGメンバーとの交流においても同じことが生まれると信じております。是非あじさい会メンバーに気軽に声をかけて頂き、交流を持って頂ければと思います。OBも皆さんとの交流を楽しみに待っております。

最後になりますが、YEGは次年度、創立50周年を迎えられるとお聞きしております。そしてあじさい会も35周年を迎えることになります。ともに節目を迎える次年度を歴史の重みを共に感じ合い、学びと交流の機会と捉え楽しみながら活動していければと思います。YEGとあじさい会の更なる発展と会員皆様のご健勝をお祈りしております。



結婚おめでとう



稲葉大樹 会員

- 結婚日：令和5年7月11日
- 配偶者のお名前(ふりがな)：稲葉和音 旧姓岩田和音(いわたかずね)
- 相手の呼び方(夫婦各々)：かずねん、かずちゃん だいきさん
- ひと言：結婚して二人での新しい生活が始まりました。お互いが幸せだと思う様に暮らしていきたいです。

森 淳一郎 会員

- 結婚日：2023/9/16
- 配偶者のお名前(ふりがな)：工藤おかり(くどうかり)
- 相手の呼び方(夫婦各々)：じゅんちゃん かおちゃん
- ひと言：新婚生活とても幸せです！

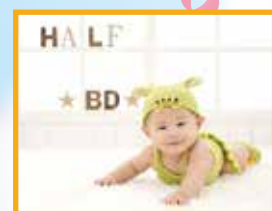


夏山侑大 会員

- 結婚日：2023/12/5
- 配偶者のお名前(ふりがな)：夏山 咲穂(なつやま さほ)
- 相手の呼び方(夫婦各々)：さほちゃん ゆくだいくん
- ひと言：あたたかい家庭を築いていけるよう頑張ります！



こんにちは赤ちゃん



吉岡 正博 会員

- 誕生日：2023/5/18
- お名前(ふりがな)：吉岡 樹生(いつき)
- ひと言(赤ちゃんから)：「パパ、YEG ばっか行っていないで僕と遊んでよ!!」

見谷 純次 会員

- 誕生日：2023/9/9
- お名前(ふりがな)：見谷 彩心(あこ)
- ひと言(赤ちゃんから)：「たくさん遊んでね」



西木田通信

山本 龍角

昨年度に引き続き、福井YEGの事務局を務めている山本です。

青年部としては、いろんな出来事があった年ではなかったかと思えます。福井商業高校との連携から生まれた入口ベニア共和国との繋がり、高校生の探究活動の発表会、新幹線延伸を見据えたサミット、そして2月に県連会員大会。

どのイベントも企画、準備、運営のどれもがタフなものばかりであったかと思えます。

しかし、佐藤会長が名付けた「知的野武士集団」の名のもとに、皆さんは鋭い視点と知見をもつて、より良い方向に進むように、委員会のかじ取りをされてきたと思います。

そのハレの舞台が先日行われた会員大会です。県連のメンバーの方や県外からの来賓の方々に前に、多くの皆様がイキキと躍動されている風景を目のあたりにし、改めて尊敬の念を抱きました。他単会の皆様からも、本大会に関してお褒めの声をいただき、事務局として嬉しい気持ちを抱いたのは言うまでもありません。

さて、個人的な話をさせて頂くと、YEGのメンバーの皆さんとの関わりについて、自問自答を繰り返してきた1年であつたと思えます。どこまで皆さんのお役に立てたかはわかりませんが、微力ながら皆さんの活動の一助となれたなら、嬉しいことはありません。

令和6年度は、福井YEGも創立50周年を迎えます。

福井YEGの今後益々の発展、青年部会員企業の繁栄をお祈りしています。